

## 1 大学の沿革

- H13. 4 鳥取環境大学開学  
[環境情報学部 (環境政策学科・環境デザイン学科・情報システム学科)]
- H15. 2 ISO14001認証取得
- H17. 4 大学院開設[環境情報学研究科 環境情報学専攻 (修士課程)]
- H18. 4 人間形成教育センター開設
- H19.11 鳥取県版環境管理システム審査登録機関として認定
- H21. 4 環境マネジメント学科の開設 (環境政策学科を環境政策経営学科、環境デザイン学科を建築・環境デザイン学科へ改称)
- H21. 7 研究・交流センターを廃止し、学科横断的な研究に取り組む「サステナビリティ研究所」を開設

## 2 教育研究体制の整備

学生が本学の教育目標を達成するため、様々な教育内容の見直しを行う。

- ・プロジェクト研究 (開校時～)  
社会人になってから役立つ実践的なコミュニケーション能力、プレゼンテーション能力、企画・実行力を養うことを目的に開講。
- ・人間形成科目の開設 (H18～)  
幅広い教養教育・基礎教育である「人間形成科目」を開設し、専門教育への橋渡しを行う。
- ・環境マインド科目の創設 (H20～)  
全ての学生に「環境マインド」を持たせることにより、他大学との差別化を図る。
- ・キャリアデザイン科目を導入 (H22～)  
高校と大学並びに生徒と学生の違いを理解し、自らの学び方や卒業後の目標像をイメージしながら大学での学ぶ方向を明確する
- ・「環境教育」に関する共通カリキュラム開発のための戦略的4大学連携事業 (H21～H23)  
4大学が連携して、持続可能な社会づくりを担う人材を養成するため、特色ある教育内容を共有化したプログラム開発。H22年度からTV会議システムによる相互利用授業を開始。  
連携大学：鳥取環境大学と人間環境大学、京都学園大学、豊橋技術科学大学

## 3 学生支援制度の充実

県内学生をはじめとして、学生生活を支援するため制度充実を図る。

- H17 BDFスクールバス運行
- H19 資格取得支援制度導入
- H20 授業料等減免制度の充実 (県内学生を対象とした半額免除制度を創設)
- H21 給付型奨学金制度の導入 (成績優秀者、環境活動、文化・スポーツ活動優秀者に奨学金を支給)、兄弟姉妹入学者の施設費免除制度の導入、学生生活支援 (アパート代助成) 制度の導入

## 4 本学における特色ある環境関連活動

- ・ISO14001の認証取得(H15.2)  
他大学に先駆けて認証を受け、学生も構成員として環境管理活動に参加している。
- ・鳥取県版環境管理システム [TEAS] 審査業務 (H19.11～)  
本学は、19年11月に審査機関として認定。審査には学生も副審査員として活動している。
- ・全国高校生環境論文を募集 (H16～)  
地球環境問題について高校生の意識を高めることを目的に実施。応募数は年々増え、第6回の開催となった21年度は、全国29都道府県の55校から過去最高の1,492作品の応募があった。

## 5 地域と連携した研究活動

サステイナビリティ研究所による4大プロジェクト

- ・ 廃棄物系バイオマスの利活用を核とした低炭素循環型社会の構築に関する研究  
(廃食用油の回収・利活用に関する研究、循環型農業生産システムの構築と地域活性化に関する研究)  
BDFの農業機械への利用や精製廃棄物の肥料化などによる低炭素社会システムの構築
- ・ 日本海に面した海岸における海ゴミの発生抑制と回収処理の促進に関する研究  
海ゴミ問題の解決を目指して、発生源や海ゴミ発生との関係や漂着ゴミ等実態解明
- ・ 芦津の森(智頭町)の活用による森林価値の創造
- ・ 中山間地域(八頭町)の環境共生まちづくりと地域活性化に関する研究

## 6 大学の地域貢献活動

- ・ 出前授業  
高校への出前授業を実施。(H17:5回、H18:18回、H19:19回、H20:29回、H21:11回)
- ・ 公開講座(H16~)  
生涯学習の推進に寄与することを目的に実施。現在県内2会場で開催。  
(21年度:20回、延べ597人参加。これまで82回、延べ2,592人が参加)
- ・ その他の事業  
聴講生の受け入れ、大学施設の開放を行うとともに、シンポジウム等の誘致や開催、産学官連携の推進にも取り組んでいる。

## 7 学生による地域貢献活動

本学の学生は、クラブやグループ活動を通して、地域社会に貢献する活動を行っている。

21年度の実践例

- ・ ヤギ部(ヤギ派遣除草)  
耕作放棄地や芝などの管理が必要な土地にヤギを派遣し、環境に優しい除草に貢献するとともに、地域住民へ生き物とのふれあいの場を提供。
- ・ 学生ISO委員会(夏季市街地一斉清掃)  
鳥取市中心市街地への恩返し及び地域との交流を目的に一斉清掃を実施。
- ・ 中山間地域応援隊  
梨の袋かけや収穫、田植えなどのボランティアを通して、地域の方々と交流し、中山間地域の現状や暮らし、また、地産地消を推進。
- ・ TUES地球温暖化を考える会(STOP温暖化大作戦)  
「STOP温暖化大作戦」の鳥取県実行団体としてNPO団体と協力しながら県内の地球温暖化防止活動の募集、県代表選定等を実施。

## 8 大学教職員の県内各種委員会等への就任

鳥取県、鳥取市をはじめ、県内の公益法人等などからの要請に応じて、21年度は本学の教職員延べ84人が委員等に就任して、地域での取り組みに積極的に関わっている。

## 9 鳥取環境大学が地元を提供してきたと思われる効果

- ・ 地元での大学進学機会の創出
- ・ 地元への経済効果
- ・ 人材の育成や地域と連携した研究活動などによる地域の活性化
- ・ 「ふるさと」を支え、活躍できる若者(18歳~22歳)の確保
- ・ 県外出身学生による(鳥取の)広報効果及び「第二のふるさと化」
- ・ 県内外出身学生の卒業後の定住